

第13回

IFOF

# 国際有機農業映画祭 2019

International Film Festival On Organic Farming 2019

## 足もとの明日

あした

どんな問題が起きても

大地を踏みしめ

まず一步を踏み出そう

◆ 上映作品 ◆

黄金の魚 アフリカの魚

2018年 セネガル

ブルキナの恵み Burkinabé Bounty

2018年 ブルキナファソ

肉を食べてはいけないの？

2018年 フランス

大地と生きる

2017年 フランス

それでも種をまく +その後

2019年 日本

◆ 野良語り ◆

「足もとの明日」

星の谷ファーム

天明伸浩さん

明石農園

明石誠一さん



[www.yuki-eiga.com](http://www.yuki-eiga.com)

Twitter、Facebookでも  
情報発信中！

100食  
限定販売！  
有機な  
お弁当

有機な屋台

有機農産物・加工品  
関連書籍・グッズ  
そして有機な人びと

2019

12月8日

9:30開場

武蔵大学

江古田キャンパス1号館  
[B1]1002シアター教室

一般：前売 2000円 / 当日 2500円 25歳以下：前売 500円 / 当日 1000円 ※25歳以下当日身分証を提示・中学生以下無料

主催 国際有機農業映画祭 / 協力 NPO 法人アジア太平洋資料センター・NPO 法人日本有機農業研究会・NPO 法人日本消費者連盟

第13回  
**IFOOF 国際有機農業映画祭 2019**  
 International Film Festival On Organic Farming 2019

9:30-10:00 開場 / 10:00-10:05 開会あいさつ ★各作品冒頭に5分間の解説があります

10:10-11:10 **黄金の魚 アフリカの魚**  
 2018年/セネガル/60分 監督:トマ・グラン、ムサ・ジョブ



セネガル南部のカザマンには、漁師、魚加工業者、難民、移民労働者が集まってくる。海岸近くの漁船まで泳いで水揚げした魚が加工され、周辺の国々の食を支えている。しかし加工に使われる燻製の木材は、周辺の森をはだかにし、たち込める燻煙が作業場で働く人々の健康を害する。やがて大手外資の飼料工場が進出し、加工所は廃墟に。環境破壊と大資本に翻弄される人々を追う。第6回グリーンイメージ国際環境映像祭 グリーンイメージ大賞受賞作品。

11:10-11:25 休憩

11:30-12:07 **ブルキナの恵み Burkinabe Bounty**  
 2018年/ブルキナファソ/37分 監督:イアラ・リー



西アフリカの国ブルキナファソ。アグリビジネス大企業の進出に対し、土地や文化を守ろうとする人たちがいる。地ビールの製造販売で生計を立てる女性たち、GM綿種子のモンサント社に反対しデモを起こす若者、気候変動について訴えるヒップホップ・ミュージシャンなど。食料主権を勝ち取るために、彼らは活動を続ける。

12:07-13:25 昼食

13:25-13:45 3分ビデオ (毎年恒例3分ビデオ。「足もとの明日」をテーマに公募した作品を上映します)



13:50-14:43 **肉を食べてはいけないの?**  
 2018年/フランス/52分 監督:ブノワ・ブリヤンジェ



息子の誕生を機に食について考え出した監督が、アメリカやヨーロッパを中心に肉の生産状況を調べ始める。生産性重視で大規模化した畜産業界は、飼養衛生や地球環境だけでなく、動物福祉でも様々な問題を引き起こしている。地球環境や動物に配慮した畜産は可能なのか。肉を食べ続けて良いのか。我々の食生活が問われている。

14:43-15:00 休憩

15:00-16:00 **野良語り 「足もとの明日」**



星の谷ファーム  
 天明伸浩さん



明石農園  
 明石誠一さん

16:00-16:15 休憩

16:20-17:27 **大地と生きる**  
 2017年/フランス/67分 監督:マリー=フランス・パリエ



農業大国フランス。都市部からの新規就農者が増えると同時に、教わった農業に疑問を感じる既存農家も現れている。快適な生活を捨て、農家を目指す元パイロット。父親から引き継いだぶどう園を有機栽培に転換する息子。土壌の豊かさに気づき、農法を見直す農民。助け合いを取り戻した苦境の酪農家たち。過疎地に新しい風を吹き込む若者たち。大地と共生する農業の新しい可能性を探りながら、社会の在り方を問いかけている。

17:27-17:45 休憩

17:50-18:30 **それでも種をまく + その後**  
 2019年/日本/40分 制作:国際有機農業映画祭



2011年3月11日。福島第一原発事故は福島や周辺の有機農家を苦境に追い込んだ。その地に留まり農業を続けた農民。新しい地へ移住し、その知識と技術を若い人たちに伝える農民。共同で測定器を購入し放射能を測る農民。それから8年余り経ち、放射能汚染の残る高線量地域への帰還も始まっている今、農民たちのその後を追う。

18:30-18:35 閉会あいさつ

※上映作品・時間など、やむを得ず変更する場合があります。最新情報は、Web / Facebook にて、ご確認ください。

**参加費 (資料代)**

一般	前売	2000円
	当日	2500円
25歳以下	前売	500円
	当日	1000円
中学生以下		無料

※中学生・25歳以下は当日身分証を提示

**前売券の購入方法**

①10月1日(火)~11月30日(土)までに  
 下記 Web サイトまたは Fax でお申込みください。

URL : [www.yuki-eiga.com](http://www.yuki-eiga.com)  
 FAX : 03-5155-4767

※Fax でのお申込みの際は

代表者氏名、住所、電話番号、Fax 番号、  
 各必要枚数 (一般 / 25歳以下 / 中学生以下)  
 をご記入ください。

②12月4日(水) 15時までに入金をお願いいたします。  
 入金の確認を以って、前売予約完了となります。

**<お問合せ>**

★国際有機農業映画祭事務局

[URL] [www.yuki-eiga.com](http://www.yuki-eiga.com) [Fax] 03-5155-4767  
 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207

※会場の武蔵大学へのお問合せはご遠慮ください。

**会場案内** 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1 武蔵大学 1号館

**電車の場** 西武池袋線「江古田駅」南口より徒歩6分、「桜台駅」南口より徒歩8分  
 都営大江戸線「新江古田駅」A2出口より徒歩7分  
 西武有楽町線「新桜台駅」2番出口より徒歩5分

**バスの場** 中野駅より関東バス江古田駅行【江古田駅】下車徒歩5分  
 高円寺駅より関東バス・国際興業バス赤羽駅行【豊玉北】下車徒歩5分  
 目白駅より都営バス練馬車庫行【武蔵大学前】下車徒歩0分

・上映会場：地下1階シアター 1002 教室  
 ・ブースエリア・食事 / 休憩：2階教室

※シアター教室内は、飲食禁止です。